

11 南校生徒学費給貸方に付伺〔明治五年七月二十四日〕

長 (伴正順) 当校生徒学費給貸方之義ニ付伺 録

今般字制御公布一般生徒之公費を廃し新ニ給貸之方法被為立候ニ付而ハ南校生徒ニおいて独逸二ノ部仏三ノ部英四ノ部以上之者ハ或ハ殆ト専門之科ニ移リ或ハ既ニ普通之業を卒リ候者ニ而(抹消)嚴ニ教則を〔達候他日〕守リ後來大成之見込有之候間右生徒之中ニ而学費給貸願出候ハ、尚試験之上第五十二章第五拾四章之規則ニ拠リ御許容相成候様いたし度此段奉伺候也

明治五年壬申七月廿四日

南 校

本省御中

〔文部省往復〕明治五年甲、㊦A3〕